

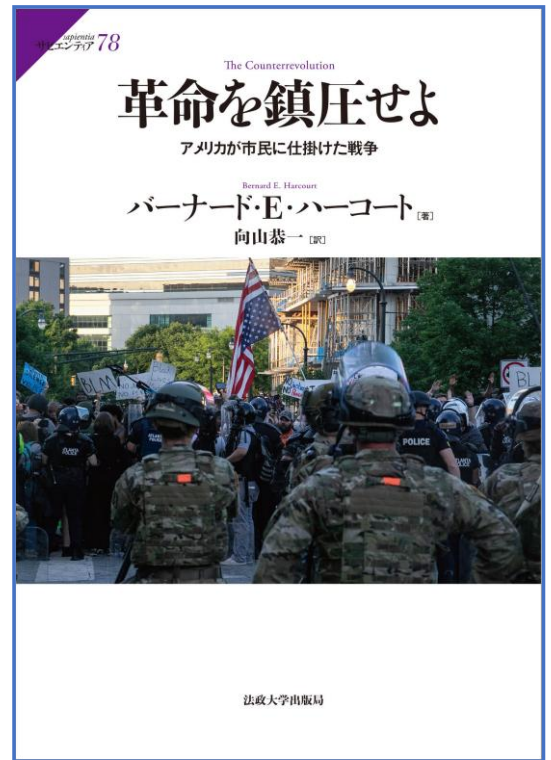
# 『革命を鎮圧せよ』が

アメリカが市民に仕掛けた戦争

12月20日(土)の朝日新聞に紹介されました！

バーナード・E.ハーコート 著 向山恭一 訳

9・11後、アメリカはイラク、アフガニスタンで戦闘を繰り返してきた。「敵」と一般住民の境界はあいまいになり、不信感を広げた。そして、いまや戦争は国内に移った。標的とされるのは戦地の住民ではなく自国市民だ。デジタル監視社会が進み、市民は丸裸にされ、疑わしき人が狩り出される。アメリカの政治は戦争の延長線上に位置づけられ、新しい統治＝〈反革命〉が生まれた。これからの社会を考えるための必読書。



四六判・上製・352頁  
2025年9月刊  
本体価格 4,200円

貴店名・帳合	法政大学出版局	注文数
	<b>サピエンティア78</b> <b>革命を鎮圧せよ</b> 978-4-588-60378-5 4,200円	冊

様

法政大学出版局 行き

F A X 03-5214-5542